



# がん・感染症センター 都立 駒込病院

〒113-8677

東京都文京区本駒込三丁目18番22号

電話 03-3823-2101

URL <http://www.cick.jp/>

## 病院の 概要

がん・感染症を中心とする疾患に対し高度な医療サービスを行う専門病院であり、併せて、一般医療機関の要請による地域医療サービスも行う病院です。総合診療基盤に支えられ診療各科の連携のもとそれぞれの専門領域を尊重した診療を行っています。都道府県がん診療連携拠点病院、エイズ診療中核拠点病院、第一種感染症指定医療機関、造血幹細胞移植推進拠点病院等に指定され全国から多数の患者を集めています。当院は教育・研究活動の充実を図っていることも特徴です。臨床研修医制度による指定病院であるとともに各種の臨床研修の指定を受けています。その他、一般医療機関に対する研修の場の提供や都立病院に勤務する医療従事者、医療関係学生および看護学生等の実習・教育も行っています。院内ではカンサーボード等カンファランスを活発に行っているほか、臨床研究、学会活動および論文作成など、高度な医療水準の維持に努めています。

## ■ 診療科目

内科（消化器 呼吸器 循環器 脳神経 血液 腎臓 肝臓 膠原病 糖尿病・内分泌） 総合診療科 腫瘍内科 緩和ケア科 神経科 小児科 外科（食道 肝胆膵 胃 大腸 乳腺 呼吸器） 整形外科 リハビリテーション科 骨軟部腫瘍科 脳神経外科 皮膚腫瘍科 形成再建外科 腎泌尿器外科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍外科 感染症科 麻酔科 歯科口腔外科 放射線診療科（診断部・治療部） 輸血・細胞治療科 内視鏡科 病理科

## ■ 基幹施設となる診療科（括弧内は連携施設病院）

- ・内科（大塚 / 墨東 / 多摩総合 / 神経 / 松沢 / 荏原 / 豊島 / NTT 東日本関東病院 / 新渡戸記念中野総合病院 / 湘南鎌倉総合病院 / 国立がん研究センター / 東京医科歯科大学医学部附属病院 / 東京健生病院 / 大泉生協病院 / 島しょ等）
- ・麻酔科（広尾 / 大塚 / 墨東 / 多摩総合 / 神経 / 小児総合 / 東部 / 多摩北 / 荏原 / 豊島 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院 / 越谷市立病院）
- ・泌尿器科（大塚 / 墨東 / 多摩総合 / 小児総合 / 多摩南 / 多摩北 / 豊島 / 国立がん研究センター東病院（予定） / 青梅市立総合病院 / 東京北医療センター / 細部医院 / 島しょ等）
- ・病理科（広尾 / 墨東 / 大久保 / 豊島 / 東京医科歯科大学医学部附属病院）
- ・放射線科（大塚 / 墨東 / 多摩総合 / 小児総合 / 荏原 / 東京都がん検診センター）
- ・総合診療科（広尾 / 小児総合 / 東京健生病院 / 大泉生協病院 / 島しょ等）

## ■ 連携施設となる診療科（括弧内は東京医師アカデミーにおける基幹施設病院のみ掲載）

- ・内科（広尾 / 大塚 / 墨東 / 多摩総合 / 大久保 / 荏原 / 豊島）
- ・外科（墨東 / 多摩総合）
- ・精神科（松沢）
- ・整形外科（多摩総合）
- ・麻酔科（広尾 / 大塚 / 墨東 / 多摩総合 / 東部 / 荏原 / 豊島）
- ・皮膚科（墨東）
- ・耳鼻咽喉科（多摩総合）

臨床研修委員会委員長からのひとこと



総合診療科部長  
岡本 朋

駒込病院の研修医制度は昭和53年に臨床研修病院に指定されて以来の歴史があり、これまで多くの医師、研究者を輩出してきました。専門臨床研修医制度は平成4年に開始され平成20年からは東京医師アカデミーの研修コースに組み込まれ現在に至っています。

当院での専門臨床研修の特徴は、各診療科の総合基盤に支えられた最先端のがん診療、感染症診療に携わることによって医師としての能力を向上させることにあります。さらに臨床研究を中心とした学会活動や論文発表を活発に行っている指導医のもとに様々な学会での発表や論文作成の機会にも恵まれています。

平成30年度から日本専門医機構による新専門医制度がはじまります。当院は内科、麻酔科、泌尿器科、病理科、放射線科、総合診療科が基幹施設としてプログラムを用意しています。外科も墨東病院、多摩総合医療センターの連携施設として最先端のがんの手術を学ぶことができます。志と意欲を持った先生方をお待ちしております。

シニアレジデントからのひとこと①



呼吸器内科  
4年次  
弥勒寺 紀栄

私は後期研修から駒込病院に入職し、呼吸器内科コースで研修しています。

駒込病院の良いところは、

- ① 大学病院と同等のアカデミックさがあります。論文を書いたり、学会発表をしたりすることができ、それを指導できる先生がいます。
- ② 教育環境がしっかりしています。必ず指導医がつくので、指導を受けながら、安心して診療に取り組めます。
- ③ オンとオフがしっかりしている、内科系は当直医制です。
- ④ 出身大学がさまざまなこと、などでしょうか。

呼吸器内科は Japan Clinical Oncology Group (JCOG) の認定施設で、治験や臨床試験に従事しています。肺癌学会や臨床腫瘍学会、呼吸器内科学会などで座長を務める先生もいらっしゃいますが、気さくに接してください。私は呼吸器内科コースですが、呼吸器内科以外にも、緩和ケア科、放射線診断部、病理科、腫瘍内科、墨東 ER、多摩の呼吸器内科で研修しました。HIVや移植関連の肺病変は多彩で非常に興味深く、当院でしか経験できないものです。感染症科、放射線治療部、膠原病科、救命センターなどで研修をしたレジデントもいます。がん患者さんばかりで症例のかたよりを心配されているかもしれませんが、総合内科専門医や呼吸器内科専門医、がん薬物療法専門医に必要な症例は集まります。死因の第1位は悪性新生物のため、生涯を通してがん診療は避けては通れないのではないのでしょうか。医者の方針を作るには、最適の病院と考えます。ぜひ一度見学に来て下さい。

シニアレジデントからのひとこと②



外科  
3年次  
柳 新太郎

私は他院で初期研修を行い、外科シニアレジデントとして駒込病院で研修中です。当院は、研修施設として先輩方が築き上げてきたよき伝統が現在も受け継がれている病院であると思います。

当院では、日々の病棟業務や救急初期対応など大部分に対して、私達シニアレジデントに権限が与えられています。治療方針の決定など、必要であればいつでも上級医に相談できる環境こそありますが、私達が主役となって病院で活躍できます。手技的なものは言うまでもなく、手術においても同様のことが言えます。当院では各臓器別に外科をローテーションしますが、いずれの科でも症例数は多く、周術期管理、手術手技など外科医として必要とされる多くのことを学ぶことができます。ローテーションが終わってからも、まるで当該科にいるときと変わらないほどの指導をいただけるのも、当院ならではでしょう。

また人と人とのつながりが非常に強い点も当院らしさであると思います。同期はもちろんのこと、先輩医師や後輩医師、看護師、薬剤師、検査技師、PT、OTなど多くのスタッフが、問題発見問題解決へと導いてくれる強い味方です。一人の医師として多くの人に支えられていることを日々実感しています。当院にはレジデントを育てようという空気が流れており、これから先もこの空気は変わらないでしょう。そんな駒込病院が私は大好きです。文面だけでは伝えきれない多くの魅力が当院にはまだまだあります。後期研修は本人の気持ちとそれに応えてくれる環境が大切です。当院は外科医として将来活躍したいという気持ちに、予想している以上の形で応えてくれるはず。将来、一緒に働ける日を楽しみにしています。